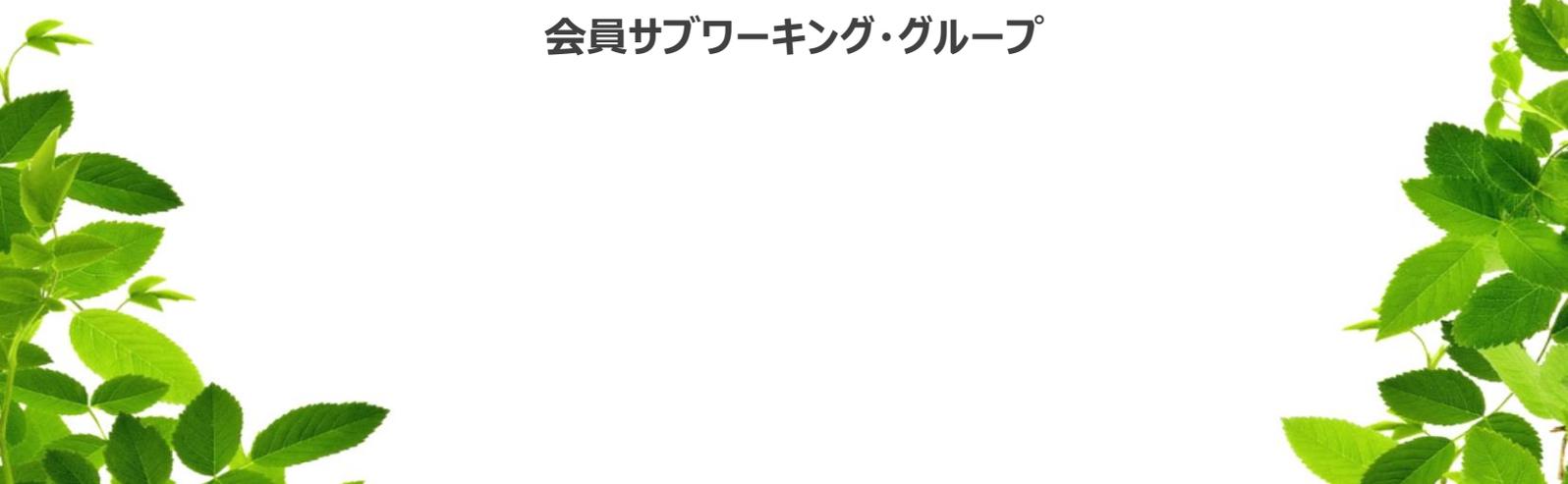


# 会員の金融経済教育活動事例について (事例集)

**日本証券業協会**

金融・証券教育支援委員会  
会員サブワーキング・グループ



# はじめに

日本証券業協会では、金融経済教育推進会議（事務局：金融広報中央委員会）の要請を受け、一昨年から、会員各社における金融経済教育活動の状況を把握し、好事例等について情報共有を図るために、「金融経済教育活動に関するアンケート」を実施しています。

今般、会員各社による金融経済教育活動に資する事項について検討を行い、証券業界として金融経済教育活動の推進を図ることを目的に金融・証券教育支援委員会ワーキング・グループの下部機関として設置した「会員サブワーキング・グループ」において、上記アンケートで寄せられた事例等を共有し、それら事例をご紹介するためのツールとして「金融経済教育活動に関する事例集」を取りまとめました。

この事例集で取り上げた活動は、上記アンケートで寄せられた事例の一部ではありますが、これらの活動を会員間で共有することで、自社の特性を踏まえながら金融経済教育活動に取り組まれる会員が増え、さらには各社の活動がより充実したものになれば幸いに存じます。

2019年 10月 日本証券業協会 金融・証券教育支援委員会 会員サブワーキング

## 目次

### 1. 出張講座

地域活性化をテーマにした金融リテラシー教育・・・	3
アセットモンスター(カードゲーム教材)による出張講座・	5
「まなぼう教室」による出張講座・・・・・・・・・・	7
金融経済教育プログラム「株の力」の展開・・・	9
出張講座「Caféを開店しよう」の実施・・・	11

### 2. セミナー

インターネットTVによる動画セミナーの配信・	15
「NISAの日」セミナーの開催・・・・・・・・・・	17

### 3. イベント

「日興 家族でワクワク体験 DAY」の開催・・・・	21
県金融広報委員会主催「楽しく学べるお金入門」への参画・・・	23

### 4. Web・ラジオ

小学生向け Digital 紙芝居の制作・提供	27
地元ラジオ番組への出演による情報発信・	29
文化放送・東海ラジオ「浅野真澄×山田真哉の週刊マネーランド」の提供・・・・・・・・・・	30

### 5. その他

「FUND DRESS」(ウェブとイベントによる施策)の実施・・・・・・・・・・	32
キッズニアへの協賛・・・・・・・・・・	33
金融・投資教育を行う教員の養成支援・・・・	35

### Web サイト集・・・・・・・・・・

### 刊行物・教材集・・・・・・・・・・

## アイコンについて

各活動の主要対象を示しています

<b>小</b> 小学生向け	<b>中</b> 中学生向け	<b>高</b> 高校生向け	<b>大</b> 大学生・大学院生向け
<b>保</b> 保護者向け	<b>教</b> 教員向け	<b>社</b> 社会人向け	

# 1. 出張講座

**<活動概要>**

中学生に、お金の流れと地域社会との密接なかかわりを学んでもらい、グループワークによって地域（商店街）が抱える課題を解決するための起業計画について考えさせる出張講座を行っている。

実際に授業を行う中学校の近くの商店街をテーマに、地域経済の課題を考えることで、身近な金融に興味を持たせるプログラム。

お客様との信頼関係から誕生した、

**“地域活性化”と“金融リテラシー”のコラボレーション**

中学校の校長先生をされていた当社顧客に、当社と教育機関との連携（p.25「Digital 紙芝居」参照）について紹介したところ、強い共感をいただき、懇意にされている中学校長会の会長でもある校長先生を紹介いただいた。

その校長先生の中学校は元々地域連携に大変熱心に取り組んでおり、金融リテラシー教育にも大変理解がある。“地域活性化”と“金融リテラシー”を掛け合わせた新しい授業の形を実施できないかとの相談を受け「地元の商店街の活性化に貢献できるビジネスプランを考える」をテーマに授業を実施することとなった。

**商店街の活性化計画！<授業例①>**

中学生社会科公民（経済）カリキュラムの1時限として実施。

中学校区内の商店街活性化を題材として、生徒に自分たちが出店するとすればどのような商店が良いかを事前に考えさせ、班ごとに発表。それを受け講師（当社課長）が生徒たちの発表した内容を講評し、地域経済の課題である、税収・雇用等について講義。

授業にあたっては、前日に提出してもらった生徒たちの出店案（起業企画書）を冊子にまとめ配付。各班の出店案を授業後に生徒間で比較検討出来るようにした。その冊子を商店街の理事長に提出・提案。

また、この取組みをモデルに、他の地域の中学校でも実施。

実施対象：3年生 4クラス 計 130名

**1校目の事例をもとに、実施依頼が舞い込む<授業例②>**

1校目とは他の地域の市議会議員より、当社社員に中学校での授業依頼を受けた。校長等の希望により、「金融リテラシーと地域活性化について」を内容に盛り込んでほしいとのことから、1校目と同じテーマ（商店街の活性化計画）で実施することに決定。当社社員から、現状の課題分析のポイント、起業に係る資金の流れ、売上の配分、税金について説明した後グループに分かれ、現状の課題分析及び商店街活性化に向けた出店計画を発表。商店街の現状の課題分析では、ハロウィン等のイベントでは、人が集まって盛り上がっているのでは、うまく活用すればよいのではないか等の意見が出た。出店案としては、図書館型カフェ、アマゾンのようなショッピングゾーン、映画村、外人・若者向けアニメカフェ、食べ放題店、スポーツ用品店が提案された。

実施対象：1年生 2年生 計 210名



### ＜活動概要＞

全国の小学校高学年の児童を対象にカードゲームを活用した体験型の出張授業を行っている。

経済や金融に関する言葉に慣れ親しむことを目的に、「『初めて学ぶ 経済と金融』の講義（45分）の後、さまざまな経済・金融用語が登場するカードを引きながら、株式・国債・預金・外貨の4種類の「アセットモンスター」をいち早くゴールさせることを目指すすごろく状のゲームを行う。途中で引くカードによってインフレやデフレなど経済環境が変わり、アセットの評価が変わるのも楽しめるポイント。マンガ付きのオリジナルテキストがセットになっており、経済や金融の仕組みや役割について学ぶことができるプログラム。

### ノベルティから出張授業コンテンツへ

小学生が楽しみながら金融や経済を学べるようゲーム方式の教材とし、繰り返しゲームをすることで理解の深化を狙った。ジュニア NISA 制度スタート時は、自社でジュニア NISA 口座を開設した方へのノベルティとしても活用しており、現在では出張授業での教材として活用している。

ゲームでは、「証券会社カード」が出るとアセットが交換できるという仕組みがあり、証券会社の役割もアピールできる。



### アセットモンスターの活用で、金融リテラシー向上に貢献したい！

出張授業での参加者の感想は下記のとおり。ゲームに熱中するのはもちろん、伝えたい内容もしっかり伝わっていることがわかる。

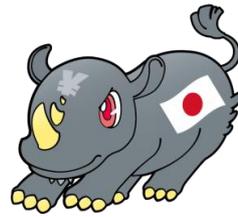
- ・「トイレ休憩も忘れるほど熱中して楽しんでいた。休憩時間にもゲームを教室に置いて学ばせたい。(先生)」
- ・「児童が皆いきいきしており、とても良い授業だったと思う。(先生)」
- ・「こんな授業を受けたのは初めてだった。また参加したい！（児童）」
- ・「株式について知るととても良い機会になった。将来株式に投資して、その会社を応援しようと思った。(児童)」

また、自社内においても、社員がカードゲームを体験することで証券業務の理解促進ができるのはもちろんのこと、教材を定型化することにより、出張授業の効率化が図れるといったメリットもある。今後、本教材を活用し、一層の金融リテラシー向上に貢献したいと考えている。

**アセットモンスター（キャラクター）の概要**

コクサイロン（国債の化身）デフレ・金利安のカード時に活躍  
 ガイーカ（外貨の化身）円安時に力を発揮  
 タメブタン（預金の化身）給料やボーナスで強くなる。  
 カブトック（株の化身）好況時に強いが、不況では弱くなる

コクサイロン



タメブタン



ガイーカ



カブトック



**カードの役割の具体例**



**カードゲームの様子**



# 「まなぼう教室」(為替・株式についての体験学習)の展開

野村ホールディングス

## <活動概要>

「まなぼう教室」は小学生を対象とした出張講座。「為替編」と「株式編」の2つのプログラムを提供。

為替編は、為替レートが変動する中で消しゴムを「輸入」する立場を体験し、「円高・円安」の影響を学習するプログラム。株式編は、株式投資を疑似体験するゲームを通じて、会社の役割や投資の意義を学ぶプログラム。

## 20年に亘る金融経済教育活動のひとつ

1990年代より、小・中学生から大学生、社会人に亘るすべての人々を対象とした金融・経済教育を全国各地で展開。小学生向け出張講座は学習教材提供先である学校からの依頼によりスタート。次世代の金融リテラシーの向上により、豊かな社会を創造することを目指している。

## 消しゴムの輸入を題材に、為替を身近に感じてほしい

授業の導入部分ではスライドを見ながら、クイズ形式で世界の国々やその国の通貨の名称を学ぶ。続いて、為替レートや円高、円安について「輸入体験ゲーム」を通じ、より深く理解する。ゲームは各人が文房具会社の社長になったつもりで、アメリカからなるべく安く消しゴムを輸入して競う。各自が為替レートの変動を見ながら消しゴムを輸入するうちに、為替が日々変動していること、それにより企業や自分たちの生活にも影響があることを体験的に学ぶことができる。

## 累計参加者は2万人以上!

これまでの開催校数は500校弱、参加者数は2万人を超える。

実施回数を重ねることで、地域の学校や先生との関係が強化できているほか、地域におけるプレゼンス向上にもつながっている。

今後は、この活動の継続、拡大に向けて、出張授業だけではなく新たな取り組みも構築していきたいと考えている。

## 体験者の声

- ・(教員)「わかりやすい講話、楽しい活動で子供たちには実りある学びができた」
- ・(児童)「お金(通貨)は国によって違うことは知っていたが、日本円に交換するタイミングによって金額が変わることを初めて知った」
- ・(児童)「ニュースで円高、円安という言葉は聞いたことがあったが、どういう意味かは知らなかった。今日授業で消しゴムを買う体験をしてみて、よくわかった」



### 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに絡めた授業も！

「為替編」のプログラムを応用して、東京 2020 と絡めた授業も実施。

東京 2020 で多くの国の人がやってくる。そのときにも為替レートの変動でさまざまな影響があることを学ぶ。

「NOMURA×TOKYO2020」冊子は裏面がクイズになっていて、オリンピック・パラリンピックに詳しくなれるだけでなく、「未来の自分」をイメージして、「夢」や「頑張りたいこと」を自由に書き込んで飾っておけるしくみになっている。



### より多くの子供たちに金融・経済教育を

社員が学校に出向いて行う出張授業に加え、地域の公民館やイベントでの実施、教員が授業に取り入れやすい教材の開発、WEB サイトでの情報発信など、誰もが気軽に金融・経済教育に触れることができる環境をつくっていききたい。

(野村ホールディングス コーポレート・シティズンシップ推進室)

## 金融経済教育プログラム「株の力」の展開

中

高

## 三菱UFJモルガン・スタンレー証券

次世代の金融リテラシー向上をめざすプログラム

株式や証券市場・証券会社の機能・役割の理解を通じて、将来を担う次世代の若者が金融リテラシーを高めるための金融経済教育と位置づけ、本業を通じた社会貢献プログラムの一環として2014年より取り組んでいる。

アクティブラーニングでより深い理解へ

授業は全5回。講師は当社社員と学校教員が分担し、連携する。座学でインプットしたことを、新聞広告としてアウトプットするアクティブラーニングを取り入れる事で、より深い理解につなげている。

**<活動概要>**

株式会社教育と探求社と共同で開発した中学・高校生向けの金融経済教育プログラム。

授業はグループワーク形式の全5回で、「株」の仕組みや機能について、クイズやゲームなどのアクティビティに取り組みながら体験的に学び、その成果を株の力を伝える新聞広告として表現する。

学習を通じて、情報収集・活用能力、チームワーク力、プレゼンテーション能力等の「21世紀型スキル」の習得にも役立つプログラム。

Step1 本プログラムの目的とミッションを知る

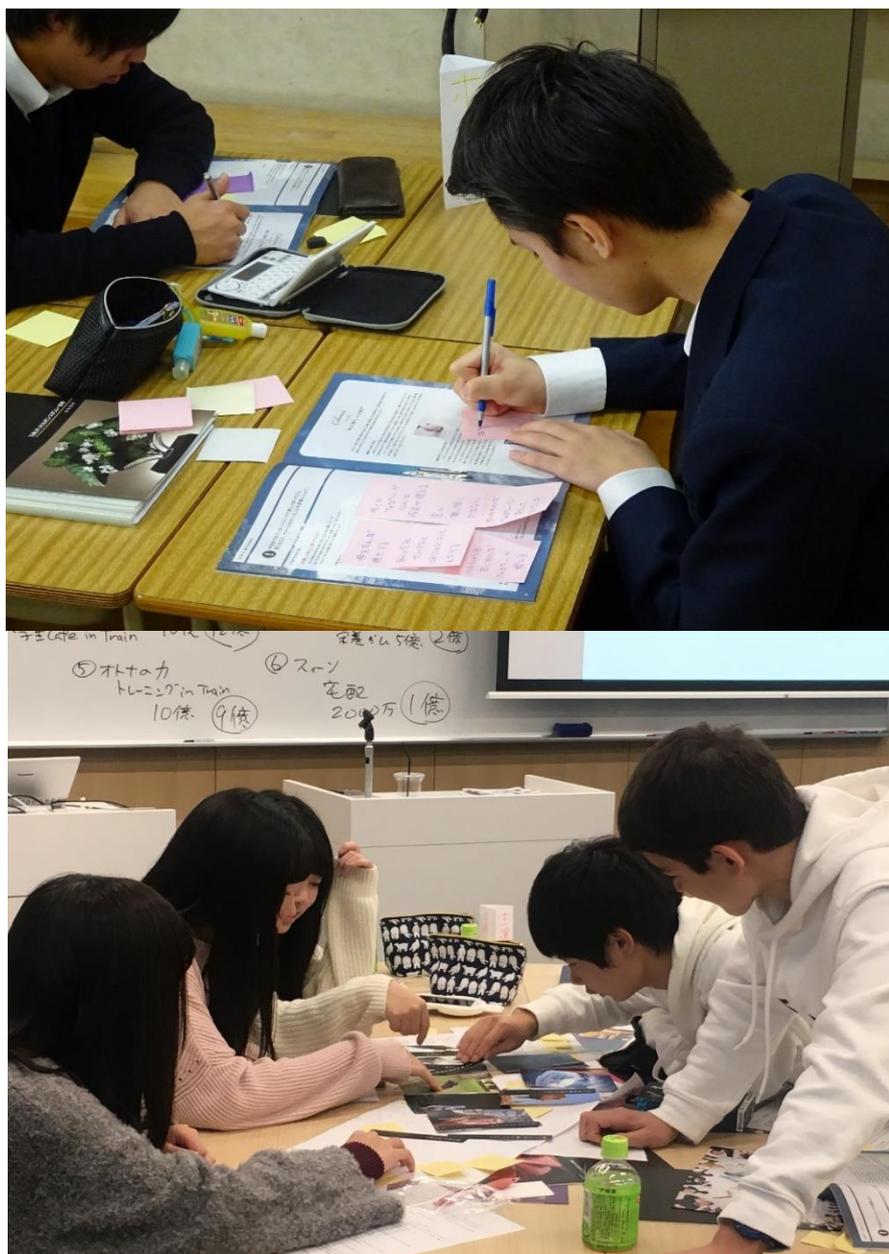
Step2 株の基礎を学ぶ

Step3、4 広告の基礎を学び、Step2で学んだことを新聞広告に表現する

Step5 制作した広告について発表する

さらに、優秀チームを本社プレゼンテーションに招待。社長・役員が出席し、プレゼンに対してコメント、次世代を担う中高生に熱いメッセージを送っている。





写真を選び、キャッチコピーを考へて実際に広告を制作、プレゼンの準備も万端

### 文科省賞受賞等、教育効果はもちろん、従業員のモチベーション UP にも寄与

2014年のプログラム開始以来、受講した生徒数は、延べ60校、4,500人を超える。アンケートにおける満足度評価では毎回8割以上が「満足」と回答。「株への興味が湧いた」「将来株に投資を試みたくなった」「起業してみたくなった」「テレビのニュースを見るようになった」等のポジティブな回答が多く、教育効果が確認されている。

本プログラムは、2016年度に文部科学省「平成28年度青少年の体験活動推進企業表彰（大企業部門 審査委員会奨励賞）」を、2018年度には経済産業省「第9回キャリア教育アワード（大企業の部 奨励賞）」を受賞する等、行政機関からも評価を頂いている。

社員から講師ボランティアを募っているが、参加者からは「学生との対話を通じてキャリアを振り返るきっかけになった」「初心に戻って株の本質について考えた」等の感想が寄せられ、社員の気づきやモチベーションアップにも繋がっている。

現在は、中学・高校生を対象にしたプログラムであるが、大学生など対象範囲を拡充することも検討している。

（三菱UFJモルガン・スタンレー証券 広報・CSR推進部）

# 「Café を開店しよう」による出張講座

高

むさし証券

## ＜活動概要＞

浦和商业高校にて、1年生全クラスを対象に3時限の授業を展開。

有名チェーン店に負けないカフェをグループごとに企画し、開店するのに必要なお金の計算をすることで、社会におけるお金の仕組みを学ぶプログラム。

## 校長先生の熱い思い

埼玉県立浦和商业高校の校長先生と当社社長との出会いをとおして、校長先生の「商業高校は卒業してすぐ就職する生徒が多く、“社会に出てすぐ役に立つ知識を教えたい”、“多くの職業の選択肢を示したい”という熱い思いを受け、授業を実施することとなった。

## 授業内容

当社でもこれまで例のない商業高校生向けの授業ということで、本取組みは担当者がテキストを作成するところから始まった。授業内容は下記のとおり。

1 限目（座学）	<p>【資金調達とは何かを学ぼう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もしラーメン屋を始めるとしたら何が必要？お金はどれくらいかかる？</li> <li>・事業を始める時に必要なお金をどうやって調達するか（銀行・株式）</li> <li>・銀行はなぜお金を貸すのか？株式を買う人のメリットは？</li> </ul>
2 限目（グループ活動）	<p>【有名チェーン店に負けないCaféをつくろう！】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Caféのコンセプトや必要なものを考える</li> <li>・あらかじめ用意した「価格表」から開業に必要な資金を計算する</li> </ul>
3 限目（グループ活動）	<p>【自分たちのCaféをアピールして投資してもらおう！】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで考えたコンセプトをみんなの前で発表</li> <li>・投資タイム → 開業に必要な資金を集めることができたグループはどこか？</li> </ul>

第1弾「Caféを開店しよう」の  
テキスト（全14ページ）





### お金に関する新たな気づきと、自分の将来を意識するきっかけに

過去2年間で16クラス約600名に授業を展開してきた。

参加した生徒からは、「商売をすることの大変さが分かった」「お店を始めるのにあれ程のお金が必要になるとは思わなかった」「株」や「銀行」の役割が少しだけ分かった」「みんなで話し合って何かを決めるのは難しかったけど楽しかった」「自分でお店をつくってみたいと思った」等の感想が、また、担当教員からも「具体例を挙げて生徒たちに考えさせながら教えることの重要性を再認識した」「高校1年生でお金を調達することの大変さを実感できたことは大きい」「グループ討議を授業の中で行うことは無かったが、今後は取り入れたい」「将来の職業として金融業界を視野に入れることができたのではないか」といったポジティブな感想が寄せられた。

### メディアにより「地元密着企業」のお墨付き！

日経 CNBC、サンテレビなどで放送中のテレビ番組「賢者の選択 Leaders」の取材を受け、「地元密着する企業」として浦和商業高校の取組みが放映された。これにより当社のイメージアップ、地元における認知度の向上に寄与した。

この経験を活かし、今後、他の高校でも同様の取り組みができるとよいと思っている。



(むさし証券 営業企画部)



## 2. セミナー

# インターネットTVによる動画セミナーの配信 社

大和証券グループ本社

## ＜活動概要＞

2000年から有料チャンネル放送サービスにて配信していた「ダイワ証券情報TV」を経て、2011年4月より、インターネットで「いつでも」「どこでも」「誰でも」をコンセプトに、中立的な内容を無料で学べる「ダイワインターネットTV」による動画セミナーを配信。

URL :

<https://www.daiwa.jp/seminar/live/>

## 資産形成への流れのサポートが目的

タイムリーなマーケット情報から時節に応じたテーマを専門家がわかりやすく解説することで、投資未経験者の方々にも視聴していただき、資産形成への流れをサポートすることを目的としている。

## 広告よりも、金融に対する啓発が使命

番組は大きく分けて4種類あり、「インターネットライブセミナー」では毎月決まった時間にライブ放送を行っており、講師に質問することもできる。

「プロの視点からマーケットを学ぶ」では当社グループ内のスペシャリストが日本経済の見通しなどについて解説を行う。

他にも、「商品について学ぶ」「制度・サービスを学ぶ」などがあるが、いずれも当社のサービスや商品の広告というよりも、あくまでも金融に対する啓発が最大の使命と考え、中立的・客観的な立場で情報を発信している。

旬な話題を大和証券が誇るストラテジスト・アナリストが解説！

# インターネットライブセミナー 毎月好評開催中！

どなたでも無料でご視聴いただけます！



インターネットライブセミナー「4つの活用術」



本映像は証券その他の投資対象の売買の勧誘ではなく、大和証券株式会社が情報の提供を目的に作成したものです。

### 大和証券が誇る講師陣！

新聞・テレビ等のマスメディアで活躍中のストラテジストやアナリストが講師を務めます！  
▶ 講師プロフィールはこちら

### 疑問を解決！

ライブセミナー開催中に掲示板機能を使って講師に直接質問ができます！

### どこでも気軽に！

パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットでもご視聴いただけます！

### 見逃しても安心！

ログイン後のページでご視聴可能！  
※翌営業日午前中から配信予定  
※ご視聴には大和証券の口座開設が必要です  
▶ 視聴方法を見る

## 年間視聴者数は 18 万人強。SDGs の取り組みとしての評価も

動画セミナーが無償ということもあり、視聴者から好評を得ている。開催実績等は下記のとおり。

【インターネットライブセミナー実績】	
2018 年度開催実績	計 25 回開催
年間視聴者数	186,868 名（オンデマンドの再放送を含む）

また、視聴者からは番組の内容や利便性の面でも評価を得ている。（感想抜粋）

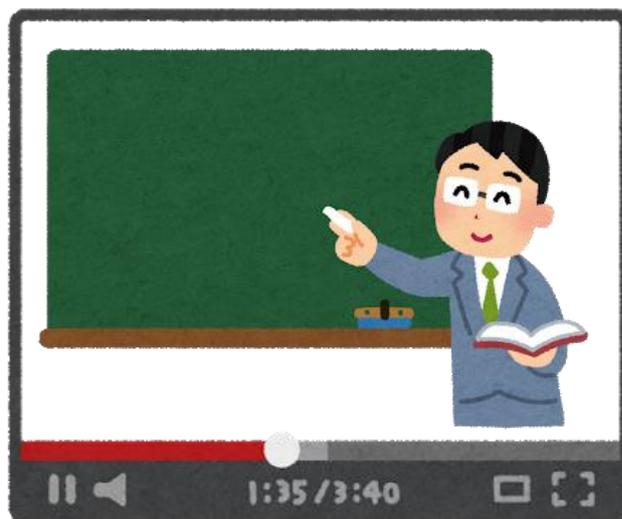
- ・「初めて見ました。全体相場の見方が分かりやすく、新しい視点を持つことができました。」
- ・「今回初めてスマホで視聴しました。とても気軽に視聴できました。」
- ・「私のような主婦にとっては、本当に有難いです。食事の後片付けをしながらでも、セミナーに参加できるのがうれしいです。内容も的確な説明でよくわかりました。とても参考になります。もう一度オンデマンドで復習します。」

さらには、国連 SDGs の企業の取り組み事例集（金融業界編 2015 年/国連 GC、KPMG 発行）において、目標 4「質の高い教育をみんなに」の事例として多様な金融・投資情報をタイムリーかつ無償で配信している点が紹介された。

### 投資未経験者への訴求に尽力したい

現状、当社としてこの事業を行うことで、投資未経験者に証券投資の必要性について理解していただくことと、また当社ビジネスへの波及効果を狙っている。

今後は、投資未経験者の方々にも、資産形成について興味を持っていただけるような番組作りに努めてまいります。



（大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs 推進室）

# 「NISAの日セミナー」の開催

社

野村ホールディングス

## ＜活動概要＞

「少額投資非課税制度（NISA）」への理解を深めてもらうことを目的に、「NISAの日」に当たる2月13日に個人投資家向けのイベントを開催。

投資家層の拡大につなげるため、投資初心者層や女性向けの企画を実施した。

## マネー×寄席×コーヒーで大規模セミナー

2019年は、野村證券日本橋本社にて【人生100年、笑って生きよう「日本橋マネー寄席」～ちょっと聞きたい、お金の「嘸」～】と題し、お金にまつわる嘸を3人の落語家が披露。

併せてワールドバリスタチャンピオンの井崎氏より、オリジナルブレンド珈琲「人生100年珈琲/笑顔」を提供いただき、寛げる空間を醸成。

昼の部は約180人、夜の部は女性限定で約130人が参加。参加者からは、「投資の話が身近に感じた。」「笑いながら楽しめた。」「セミナーだけでなく、美味しい珈琲を飲むことが出来て、とても充実していた。」といった感想が寄せられた。

## 話題の株主優待投資家 桐谷さんも登場

2018年には、「NISAも将棋もコツコツみたくて！」と題し、第1部は桐谷広人氏の株主優待講演、第2部は元プロ棋士でもある桐谷氏のつめ将棋レクチャーも交えながら、お笑いコンビ「アナクロニスティック」が将棋盤を使ったネタで投資の大切さをアピールした。

1日2回開催で300人以上が参加。

## セミナー参加者層の拡大に寄与

平日夜に女性限定セミナーを行うことで、キャリア女性など、普段のセミナー開催時間では来店できなかった方々に多く参加していただくことができた。

2月13日 NISAの日特別企画

人生100年、笑って生きよう  
**日本橋マネー寄席**  
～ちょっと聞きたい、お金の「嘸」～

このたびNISAの日特別企画「日本橋マネー寄席」を開催します。新進気鋭の落語家3名による競演と演目後は野村證券社員によるミニセミナーや落語家3名とワールドバリスタチャンピオンの井崎英典氏を交えたトークセッションも行います。笑う門には福来ると申します。たくさん笑ってお楽しみください。

セミナー当日は2014年ワールドバリスタチャンピオンシップでアジア人初のチャンピオンに輝いたバリスタ、井崎英典氏がこの日のためにプロデュースしたオリジナルブレンド珈琲「人生100年珈琲/笑顔」もご提供。是非ご賞味ください。

井崎英典氏講演「人生100年珈琲/笑顔」のご提供は本店営業部1階ロビーにて、セミナー開始前1時間及びセミナー終了後30分のみとなります。(20:30終了)珈琲は7階ホールには持ち込みできませんのでご了承くださいませ。

**昼の部 14:00～15:30** ※各部30分前より受付  
**夜の部 18:30～20:30** 女性限定イベント特別企画 ※夜の部は女性のみの参加可です

- 日本橋マネー寄席(1時間) 【出演】立川音笑、藤原昇々、榊原小南菜
- 資産運用ミニセミナー(15分) 昼の部「人生100年時代のお金の話～資産形成のすすめ～」(講師)野村證券 総務サポート部 栗田 綾子  
夜の部「人生100年時代のお金の話、今からでも間に合う資産形成のコツ～つみたてNISAの活用について～」(講師)野村證券 マーケティング部 川口 嘉
- 落語家3名、バリスタ井崎氏によるトークセッション(15分)

**バリスタ** 井崎 英典 (いざき ひでゆり)  
2012年に史上最年少にてジャパンバリスタチャンピオンシップにて優勝し、2連覇を成し遂げた後、2014年のワールドバリスタチャンピオンシップにてアジア人初の世界チャンピオンとなる。現在はグローバルに活動を続け、コーヒーエバンジェリストとして啓発活動を行っている。

**落語家** 立川 音笑 (たてかわ まさしゅう)  
立川流門下一門弟子。漫才二ツ目。古典落語的は新演の中で、現代のコントやネタ展開に若い笑いの感覚を披露する「喜劇(喜コナン)」という手法を得意とする。NHK Eテレ「落語ディーラー」(ディレクター)等出演中。

**落語家** 藤原 昇々 (ふじはら しょうしゅう)  
喜劇界界隈の弟子で漫才二ツ目。喜劇界ユニット「成金メロディー」2015年・2016年NHK新人喜劇大賞、決勝進出。2016年「笑客くらぶ大賞」受賞。BSフジ「ワンキッカーズ」MCレギュラー出演中。

**落語家** 榊原 小南菜 (さかきばら こみなな)  
5代目榊原流の女将であり、三代目小南菜を襲名。漫才二ツ目。喜劇界ユニット「成金メロディー」2015年「NHK新人喜劇大賞」決勝進出。漫才界喜劇界ニュース対談番組「漫才がムラい」水曜22時はスクリーンニュース)MCレギュラー出演中。

お申し込みは、下記ナビダイヤルまたは野村證券ホームページで、  
**0570-077-000**  
【利用できない場合】042-303-8100  
平日18:40～19:00 土日19:00～17:00【祝日・年末年始を除く】  
※ご利用の際は電話番号も間違えのないようご注意ください。  
本案内に記載のセミナーでは、セミナーで紹介する商品の勧誘を行う場合があります。

野村證券 日本橋本社7階 電話 0570-077-000 東京都中央区日本橋1-9-1

**NOMURA**

トークセッションの様子



コーヒーの提供の様子  
上段左写真: 左がバリスタの井崎英典氏

**イベント考案のカギは、ふらっと立ち寄りたくなる企画**

投資初心者向けのセミナーを企画するときは、会社帰りにちょっと立ち寄って話を聞いてみたくなるような話題の「人」や「モノ」を組み合わせることで、投資以外の内容も楽しんでいただくような工夫をしている。また、夜の時間帯や女性限定枠を設けることで、満足度の向上も図っている。



**日経未来投資プログラムをセミナーで活用**

日経未来投資プログラムは、投資未経験者や投資初心者に、気軽にバーチャルで投資を体験してもらうプログラム。登録は無料で、参加したその日から120万円の仮想資金を使って実際の株式銘柄を自由に売買することができる。投資を始める前の練習台として、セミナーで紹介している。

(野村ホールディングス コーポレート・シティズンシップ推進室)



# 3. イベント

# 「日興 家族でワクワク体験 DAY」の開催 小 保

S M B C 日興証券

## ＜活動概要＞

1年に1度、夏休みの時期に、全国の支店で小学生を対象に支店に訪れてもらうイベントを企画。

イベントの内容、開催日数や規模は各支店に一任し、それぞれ特色のあるイベントで来訪者を楽しませる。

裁量は支店にありながらも、ほぼ全ての支店が実施している当イベントは、当社の金融経済教育活動の重要な柱となっている。

## 支店ごとに工夫を凝らしたイベントを開催！

「日興 家族でワクワク体験 DAY」は、本業を通じた社会貢献の一環として 2006 年から開始し、“証券会社が学校になる日”として社内に定着。

イベントは、小学生とその家族が自社の本支店を訪れ、クイズや情報端末を使った実体験、社員による講義などを通じて、経済やお金の流れ、金融機関の社会的役割などを楽しみながら学べるようになっているものがメインだが、内容は各支店に委ねられている。

地域の特性を活かしたイベントもあり、お寿司屋さんを呼んだり、クイズイベントを開催したりと工夫を凝らしている。毎年楽しみにして訪れる方もいるため、イベントの内容を更新していくのが大変難しいが、地域と密着した営業を行っていく上で、欠かせない重要な活動となっている。

集客の際は、HPに掲載したり、顧客に対し「身近なお子様」に声をかけたりする。しかし、意外にも顧客以外の参加者が多いため、証券会社に普段訪れない人を呼び込むよい機会となっている。



内容例：クイズで学ぼう！（お金や経済に関するいろんなこと）

動画や学ぼう！（会社のしくみ）

支店見学や名刺交換会、「修了証書」の授与式

## 地域社会とのリレーション構築・強化に手ごたえあり

本取り組みを開始した 2006 年度以降、延べ開催回数は 1,282 回、参加者は 18,644 名にのぼる。  
参加者からは、

(児童)「S M B C 日興証券の仕事や株の仕組みがよくわかりました」

(保護者)「金融経済は子供には難しいと思っていましたが、楽しんでいました。」

との声があり、金融経済教育活動に一役買っていることがわかる。

さらに、自社としても地域社会とのリレーション構築・強化が図れるという効果があることから、今後は参加するお子さんの年代に合わせた教材等のコンテンツ増強を行っていきたいと考えている。

## 一日の概要 (約 2 時間のタイムスケジュール)

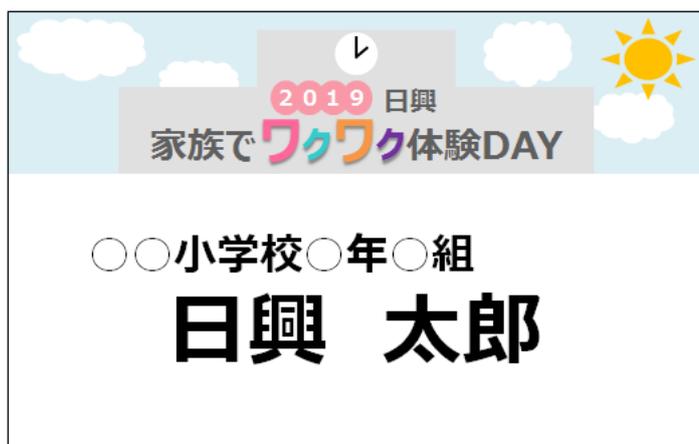
支店長挨拶

クイズで学ぼう! (30 分)

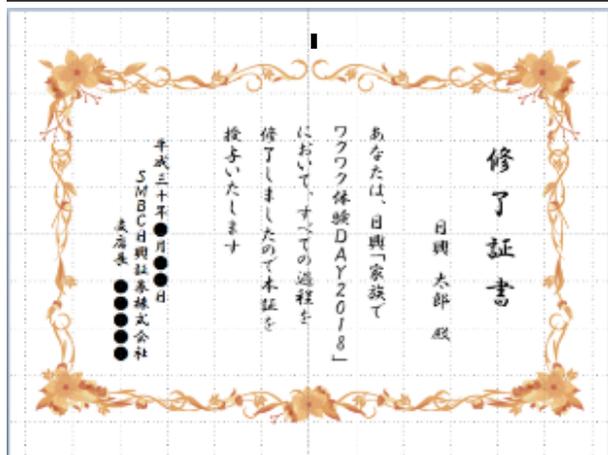
動画で学ぼう! (30 分)

支店見学や名刺交換会、「修了証書」の授与式 (60 分)

## 名刺イメージ・支店スタッフと名刺交換の様子



## 修了証書イメージ・最後に一人ずつ修了証書を渡します



(S M B C 日興証券 経営企画部 CSR 室)

# 県金融広報委員会主催「楽しく学べるお金入門」への参画

小

保

教

徳島合同証券

## ＜活動概要＞

徳島県金融広報委員会主催で始まった「楽しく学べるお金入門」は、夏休みに小学4～6年生とその保護者を対象に行う、お金に関するセミナーと各金融機関の見学会で構成されるイベント。

当社では、証券会社見学会で、日証協が提供するプログラム「チャレンジ！お菓子の株式会社」を実施している。

## きっかけは、徳島県金融広報中央委員会からの提案！

徳島県金融広報委員会（注1）からの提案が発端となり、また、各金融機関の賛同もあり、実現した。

徳島の子どもたちに正しい金融の知識を持ってもらいたいという各金融機関の共通の願いがあったため、全体向けの大きなイベントと各金融機関が自社に小学生を招く見学会を併せて実施することとなった。

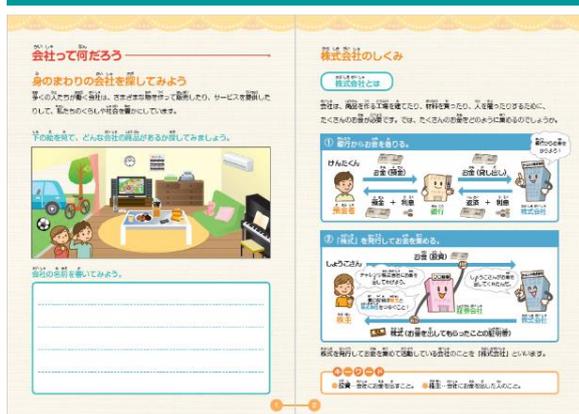
（注1）金融広報委員会とは：都道府県庁、財務省財務局・財務事務所、金融経済団体、消費者団体、日本銀行本支店・事務所等により構成されており、中立・公正な立場から、暮らしに身近な金融に関する幅広い広報活動を行っている。



## 日証協提供のプログラムを活用

「チャレンジ！お菓子の株式会社」は、テキストを使いながら株式会社のお金の集め方や、成り立ちなどを学んだ後に、2～6名ほどのグループごとにお菓子の株式会社をつくり、工夫を凝らした新作のお菓子を考え、実際にパッケージを制作する。商品パッケージが出来たら自分の会社に投資をしてもらえるように、全員の前で自社のお菓子をアピール。その後、全員が投資者となり、応援したいと思った会社に「応援します」と言ってお金券を渡し、それに対して会社は「頑張ります」と株券を渡すことで“投資を疑似体験”する。

本プログラムは小学生のみならず保護者、教員の方また当社の新人社員の基本的な株式会社の理解に有効であり、好評を得ている。①お菓子の商品パッケージづくり②自社商品のPR③投票④優勝者への配当、ボーナスの支払い（④は当社オリジナルの内容）と短時間で多くのカリキュラムをこなすため時間が超過しがちだが、夏休みの自由研究課題の材料ともなり有効である。



☞テキストは「会社って何だろう？」から始まります

### チームワークのよさが資金集めのカギ！

毎年 50～70 名ほどの参加があり、児童だけでなく保護者も盛り上がりお菓子のパッケージ制作を行っている。PR が苦手という意見の児童もいたが、保護者とともに大盛り上がりで終わるケースがほとんどである。

児童たちも 1 分という限られた時間で自社商品の良さを PR するために趣向を凝らしている。しっかりはつきり、大きな声で発表できたグループの商品が投票を集めやすい傾向にある。商品自体の独創性もさることながら広告 PR は見ても面白い。家族で参加している方もいらっしや、そのチームワークの良さが投票の多寡を決めるような印象も。



☞ (写真左)

イベント開催中の様子。子どもたちは講義を真剣に聞いています！

☞ (写真右、下)

お菓子の新商品パッケージの作成中。色ペンやシールを駆使して、インパクトを！成分表示もあと安心。



### 本来の株式投資の姿を伝えられる教材

当社では、本イベント以外も含め本教材による講義を 13 回行ってきており、県内で少しずつ認識されてきたイメージがある。「投資はギャンブルではなく会社への応援である。」「株主は株式に投資することにより国家の産業に参画し、その発展に寄与、奉仕する。」という本来の株式投資の姿を再認識できることが自社にとってもメリットとなっている。

ただ楽しめるというだけでなく、間接金融と直接金融の役割の違いがよくわかり貯蓄から投資への移行に有意義なツールと認識している。

(徳島合同証券 総務部)



## 4. Web・ラジオ

## 小学生向け Digital 紙芝居の制作・提供

小 中

藍澤證券

## ＜活動概要＞

地域社会貢献を目的として、小学生向けにお金に関して学べる16分間の紙芝居動画を制作。

動画は、カワウソ“りく君”がお店を開業するという夢を叶えるために、知恵者“あすかじいちゃん”と、協力者である証券会社の“フクロ”の助けも借りて、起業・金融の知識を深めながら、念願のお店を開業する姿を描いたサクセスストーリー！

学校のイベントで動画を流すほか、YouTubeでも閲覧が可能。

## 家族の声から！クロスボーダー・ソリューションの活用

レピュテーションの高い地域金融機関や教育機関との提携/連携を軸に、先方が提供出来ない、業務範囲や県境、交流範囲を超えたサービス＝「クロスボーダー・ソリューション」（特許庁商標登録第 5978805 号）を提供することを全社施策としたところ、社員の家族から、子どもの学校行事にクロスボーダー・ソリューションを活用したいとの打診があった。その後、提携先の徳山大学との連携を経て、動画コンテンツができ上がり、実際に学校のイベントで上映会を行った。

URL：

<https://www.youtube.com/watch?v=7UJHkQZbp5E>

## 支店間の共有で広がる活動

制作当初は大人が子ども向けに動画を上映するものだったが、他支店へも支店間の会議などで評判が広がり、中学生が紙芝居を演じるというバリエーションも出てきて広がりを見せている。更に、社員の声から、聴覚障害者にも楽しめるように手話を入れる工夫をした。



## 動画は、事業を行うときのお金の集め方についてわかりやすく表現。証券会社の役割もアピール



ある日、カワウソのりく君は、お母さんが遠くの町まで買い物に行って大変な思いをしていることを知り、自分の住む町にお店を開けば便利になると考えた。

りく君がお店を開くために必要なお金について、どのように集めるか悩んでいると、あすかじいちゃんが集め方を教えてくれたが、「自分の貯金と、銀行の借入れと、あと残の1万どんぐりはどうしよう・・・」



ここで、あすかじいちゃんは株式と証券会社の存在を教えてくれる。

証券会社の社員フクロは、お金の悩みや投資先についてアドバイスをくれる存在として登場。子どもたちにもわかりやすい言葉で、株式の仕組みを伝えている。

りく君が無事に夢を叶えたかどうかは…ぜひ動画をご視聴いただきたい。

### 地域密着の取り組みが取引にもつながっている

保護者の方も一緒に紙芝居をご覧いただくと、「子どもだけでなく自分も勉強になった。」との反応があるだけでなく、7年にわたる地域密着の取組みから、取引が生まれるなどの効果も出ている。それを各支店で共有することで、さらに活動が広がるよう工夫している。

今後は、各地域の子どもたちに、このコンテンツがより身近になってもらえるよう、地域ごとのキャラクターでリメイクしたご当地アニメの作成を計画中。

#### ☞実施実績

A 小学校	31名（H29年度）、330名（H30年度）
B 地区イベント	230名（H29年度）、130名（H30年度）
C 小学校	85名（H30年度）
D 地区NPO法人	25名（H30年度）
E 小学校	90名（H30年度）

（藍澤証券 ソリューション第一部）

# 地元ラジオ番組への出演による情報発信

社

徳島合同証券

## ＜活動概要＞

毎週水曜日、社長自らがリスナー2万人の四国放送「となりのラジオ」に出演し、「証券ニュース」コーナーを担当。

同コーナーでは10分程度、地元の企業の方などを迎えして話をしたり、リスナーに長期投資の有効性を紹介している（2019年で17年を迎えるロングラン放送）。

番組 URL:

<http://www2.jrt.co.jp/cgi-bin3/tonari/index.html>



◆ チャレンジ！お菓子の株式会社の中継中

## 証券会社が人々にとって身近な存在となるために

アメリカでは、人生において持ちたい3人の友が「1. 弁護士 2. 医者 3. 証券マン」と言われているらしい。日本もそのように、証券会社が人々にとって身近な、より必要とされる存在となってほしい、との思いからラジオを続けている。

また、本来のプライベートバンク業務の推進を目指して「日本株による長期投資を普及したい」という思いを伝える場としている。

## イベント「チャレンジ！お菓子の株式会社」の中継も！

番組では様々なゲストと社長との対談を通して経済情報が発信される。ゲストは、徳島でクラウドファンディングを行う団体や、近々オープン予定の地元のお店、環境保全団体、はたまた社長の交流のある金融機関の方々など多岐にわたる。

特に、年に1回行われる徳島県金融広報委員会主催の「楽しく学べるお金入門」（P.22 参照）において、日証協のプログラム「チャレンジ！お菓子の株式会社」を活用して小学生が新作のお菓子を発表する音声を実況中継することで、イベントにとどまらない波及効果を生んだ。

## 継続は力なり。ラジオの宣伝効果は大！

ラジオ出演を継続することにより当社の知名度は向上し、地域社会で存在感を強めている。

ラジオを聴き当社のセミナーに参加する人も増えている。今後もラジオを通して当社を、そして長期投資の有効性を知っていただき、豊かな徳島をつくる投資者であふれるようにしたい。

さらには、少子高齢化というが、今ある金融資産を活用することにより「日本の地方は可能性のかたまり」であることを証明したいと思っている。

（徳島合同証券 総務部）

## 文化放送・東海ラジオ「浅野真澄×山田真哉の週刊マネーランド」の提供

社

## みずほ証券

## ＜活動概要＞

声優・作家である浅野真澄氏と、公認会計士・税理士であり、ミリオンセラー「さおだけ屋はなぜ潰れないのか？」の著者である山田真哉氏が、お金に関する情報を提供するラジオ番組。毎週1回30分の放送。

両氏が投資について初心者にもわかるように解説することで、投資未経験者でも気軽に聞ける番組内容。

番組 URL :

<http://www.joqr.co.jp/money/>

文化放送初！アニメ・ゲーム層向けの投資の番組

投資家のすそ野拡大という中期的な視点に立ち、2015年6月より提供開始。同局が得意とするA&G（アニメ・ゲーム）層向けに投資に関する番組を作るのは初の試みであり、当社は番組制作をサポートするとともに当社の広報コーナーも設置。

投資コンテストで株式投資を模擬体験！

番組内で行われる「マネーランド投資コンテスト」では、リスナーもインターネットで参加して、「株式投資とれーにんぐ」という株取引シミュレーションを体験。投資コンテスト上位者などは公開録音に招待されるなどの特典もあるため、人気企画となっている。

幅広いリスナーからの支持

現在、関東、東海地区で放送中。リスナーの世代別では、番組の内容から若年層が多いと想定したものの、50代以上の世代も4割強を占めており、幅広い世代から支持されている。

アニメファン向けの番組枠で、気軽に聞ける番組を通じた、投資、証券会社への親近感や、当社ファンの醸成を目指している。

今後は、番組内容のさらなる活性化ができればと考えている。



# 5. その他

# 投資のハードルを下げることを目的とした ウェブサイト・イベントによる発信（「Fund Dress」）

社

カブドットコム証券

## ＜活動概要＞

「好きな洋服（Dress）を選ぶという直感的な選択行動が、つみたてNISAの対象商品である投資信託（Fund）選定につながるという体験をデザイン」するというコンセプトのもと、特設ウェブサイトを開設。

ドレスを選ぶと、その選択を色彩心理学に基づき価値観診断し、その性格に合う投信を紹介する仕組みを作った。その他にも、六本木でランウェイ&トークショー、表参道でポップアップストアを開催し、若い人に投資に触れてもらうきっかけを提供。

### FUND DRESS Collection



六本木ミッドタウンで行われたランウェイ

## 大変な投資信託の商品選びをサポート

つみたてNISAの口座開設は増えているものの、商品購入までたどり着く人が少なく、そのギャップを埋める必要があった。投資信託の商品数が多いこと、商品の特性がわかりにくいことによってとっつきにくいという印象をもたれていることが課題だと考え、直感的な行動によってそれぞれのお客様に合った商品を提案し、知ってもらうために、FUND DRESSをリリース。

## ファンドの紹介ページが、ぐっと身近に

「知識がないから選べない・始められない」を手助けする本取組みは、下記のとおり簡単なステップで各投資信託の特徴紹介までたどり着くことができる。

### Dressを選ぶページ

30種類のDressから直感で好きな色（デザイン）を選択



### 価値観にマッチングするFundの紹介ページ

色彩心理学に基づく価値観診断結果でDressの特徴とそれに合致するFundを理解



## 今後も“金融らしくない”施策を

当社では資産形成層をターゲットに、投資へのハードルを下げることも金融経済教育の一環と捉えている。今後も斬新で“金融らしくない”施策を継続していくことが重要と考える。

（カブドットコム証券 営業推進部営業戦略グループ）

# 「キッザニア」への協賛

小

中

保

## 株式会社大和証券グループ本社

### ＜活動概要＞

子どもたちを対象とした職業体験型テーマパーク「キッザニア」の東京・甲子園（兵庫）の両施設にて、証券コンサルティングパビリオンを提供。

子どもたちは、証券会社のコンサルタントとして投資者であるお客様から相談を受け、近隣パビリオンに出かけ、混雑度合い・売れ筋商品などの状況をヒアリングする。その結果からおすすめできる投資先を選び、お客様に投資をしてもらうまでの過程を体験。

### 証券会社を身近に感じてほしい

子どもたちに日頃なじみの薄い証券会社の仕事について、知ってもらうことを目的として始めた。他のパビリオン（運輸業、飲食業など）に比べ、証券会社は具体的に何をしているのかわかりにくい業種ではあるが、だからこそキッザニアに提供する価値があると考えている。

### 中学生向けの体験プログラムも

キッザニアは小学生をメインターゲットとした職業体験の施設であるが、中学生も訪れることがある。

中学生向けプログラム「東京ジュニアチャレンジジャパン」では、当社の社員が講師となり、証券会社が社会で果たす役割について紹介し、意見交換を行った。話の内容に関心を持ち、積極的に質問をする中学生も多く見られた。

### 年間 150 万人以上の来場

2018 年度集客状況は下記のとおり。

今後も、証券会社の役割について認知度向上ができるよう、リピーターを増やせるようなプログラムづくりに努めたいと考えている。



2018年度集客状況(保護者含)	
東京	87.6 万人
甲子園	74.8 万人



「東京ジュニアチャレンジジャパン」で教材として用いた「おしごと年鑑」の抜粋

「東京ジュニアチャレンジジャパン」参加者の声

会社や証券会社は経済を循環させる重要な役割ということがわかった。

ニュースで株価や日経平均という言葉を見たことがあるが、詳しくは知らなかった。新聞に株価が載っていることがわかったので見てみようと思った。

全然関係のないように思えるニュースも、世界の情勢や日本の経済に影響して株価が変動することが予想できると面白い。

今まで知らなかったけど、もっとニュースや新聞に興味を持とうと思った。

- プログラム内容：
- 1.会社ってなんだろう？
  - 2.株の働きについて理解しよう
  - 3.新聞の株式欄を見てみよう
  - 4.証券アナリストになってみよう
  - 5.発表・質疑応答

(大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs 推進室)

# 金融・投資教育を担う教員養成支援

大 教

みずほ証券

## <活動概要>

2015年4月より早稲田大学教職大学院と連携し、中等教育において、金融・投資教育を実践できる教員養成を目的とした研究を行っている。

各地の公立、私立等さまざまな学校で授業を実践しながら、コンテンツ、授業運営方法の研究を行っており、教育委員会を通じた実践校の拡大を行うほか、2017年からは同大学院生と共同で教材作成、実践を開始した。

## 金融・投資教育を「点」から「面」へ

教員の養成にスポットをあてるのが、金融・投資教育の「点」から「面」への普及につながると考え、早稲田大学との研究を開始した。

同大学は、教員を多数輩出し、中でも教職大学院には教員免許保有者、現役教員が在籍し、卒業生は将来、教育現場をリードすることが期待されている。当社は寄附講座を通じ、接点があったことから研究が実現した。

## 授業実践や現場教員、大学院生との意見交換を通じて、コンテンツを作成・改良！

これまで、下記のコンテンツを主として、授業実践を開始。現場教員や教職を志す大学院生、大学教授の意見を踏まえたコンテンツの作成・改良を行っている。参加する大学院生は、社会科に限らず、英語、国語、理科など専攻もバラエティに富んでいる。金融・投資教育の必要性を感じ、自ら志願して教材作成、授業の実践を行っている。

金融経済を身近に感じる	経営者、また投資家の立場で企業の資金調達、金融の役割、企業の見方などを学ぶ
自分とお金との付き合い方	自らの生活と関連付けながら、将来のライフプランを考え、誰もが必要なお金との付き合い方を学び、金融リテラシーを身に付ける
お金を蓄える方法とリスク	お金を蓄える方法（ためるとふやす）、リスクについて、社会における投資の役割を学ぶ

## 「お金を蓄える方法とリスク」教材サンプル

**授業計画**

めあて  
・ お金を蓄える方法について理解させる  
・ 投資におけるリスクへの対応について考えさせる

学習内容及び学習活動	
導入	本時のめあての確認
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>お金を蓄えるには ・ ためる（貯蓄）とふやす（投資）の違い</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのように蓄える？ ・ 貯蓄か投資のどちらで蓄えるか選択【個人・グループワーク】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスクへの対応 ・ 分散することでリスクを抑える</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>補足（社会における貯蓄と投資の役割）</li> </ul>
まとめ	授業内容について振り返り

**ワークシート**

**スライド**

### 生徒や教員の声：金融・投資教育の必要性を実感！

（生徒）「お金との付き合い方は人生を左右するくらい大切なことだと知った。早めに知れてよかった」

（教員）「将来を真剣に考えさせる点で、進路指導にも役立つ」、

「実社会や他教科で扱った内容のつながりを持たせた授業だった」などポジティブな感想が寄せられた。

### 授業を行った院生の声：社会科以外の教科担当にとっても、さまざまな気づき！

実際に授業を行った大学院生の感想からは、生徒にとっても自身にとってもよい影響があったことが読み取れる。

（国語科）「金融や投資について学ぶ機会がなく、自分自身も学びたいという気持ちで参加しました。実際、教材作成を進めるなかで、中学生のうちから知っておくべき内容だと実感しました」

（英語科）「慣れない金融の授業は苦勞しましたが、お金に関する英語のことわざも交えることで、生徒の印象に残る授業ができたと思います」



### 教育支援対象の拡大とコンテンツの改良に寄与

当社では、これまでも生徒に興味を持たせる教材の作成、授業運営を心掛けていたつもりだったが、それでも大学院生からは、生徒には「縁遠い」「情報量が多い」「専門用語が多い」との指摘があり、本取組みにより、さまざまな点で資料や授業運営の改良が行えた。

これまで、みずほフィナンシャルグループが東京学芸大学と、初等教育向けも含む「金融教育」の共同研究を実施してきた。当社が中等教育に強い早稲田大学との連携を通じ、「投資教育」にも取り組むことで、グループ全体で教育支援の幅を広げたいと考える。今後は、コンテンツのさらなる改良に加え、教育委員会等公的機関、現場教員、教職大学院生 OB、OG 等とのネットワークの拡大を図りたい。

（みずほ証券 コーポレート・コミュニケーション部 投資教育推進室）

# Web サイト集

サブ・ワーキンググループ会社制作の  
金融経済教育に関する Web サイト

FROGGY SMBC 日興証券株式会社



社



URL : <https://froggy.smbcnikko.co.jp/>

様々な企業が紹介される記事を起点に「学びながら気になった株をすぐ買える」という新しい投資スタイルを体験できるサイト。

SODATTE 株式会社大和証券グループ本社



社



URL : <https://www.daiwa.jp/sodatte/>

日々子育てに奮闘するパパ・ママが元気になるコンテンツと、子育て資金にかかわる知恵をお届けする「パパ・ママの子育てを実践的にサポートする情報サイト」。

おかねのミカタ 株式会社大和証券グループ本社



中

高



URL : <http://edu.daiwa.jp/>

中学生・高校生を中心とした10代を対象に、将来自分自身で生活設計やお金の管理をする上で必要となる金融・経済や投資に関する基本的な知識を、楽しく学ぶことができるサイト。

# 経済学習サイト「man@bow」

野村ホールディングス株式会社



中

高



URL : <https://manabow.com/>

お金や経済について簡単に楽しく学べるサイト。毎月 50 万 PV のアクセスがある。2000 年に開設。多くのユーザーに親しまれている。

# 生涯収支シミュレーター あしたのおかね

みずほ証券株式会社



社



URL :

<https://robo.mizuho-sc.com/mhsc/lifeplan/adviser.aspx>

インターネット上で複数の簡単な質問に答えることにより、生涯の収入と支出のバランスを簡易に計算できるツール。

# 資産運用アドバイザー あしたのそなえ

みずほ証券株式会社



社



URL :

<https://robo.mizuho-sc.com/mhsc/robo/adviser.aspx>

商品ラインアップの中から自分に合った最適なポートフォリオを提案するロボアドバイザー。

# 教材集

サブ・ワーキンググループ会社制作の  
小学生・中学生向け金融経済教育教材



## 『株式』について知ろう

株式会社大和証券グループ本社



小

[http://www.daiwa-grp.jp/csr/citizen/business/next\\_generation/index.html#financialtxt](http://www.daiwa-grp.jp/csr/citizen/business/next_generation/index.html#financialtxt)

株式会社、東証、証券会社、株式の役割などを解説。



## おしごと年鑑 (部分提供)

株式会社大和証券グループ本社



小 中

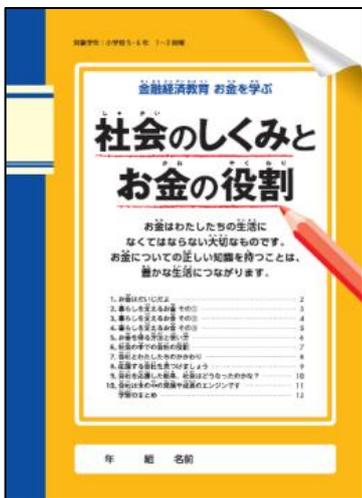
[http://www.daiwa-grp.jp/csr/citizen/business/next\\_generation/pdf/oshigoto2018.pdf](http://www.daiwa-grp.jp/csr/citizen/business/next_generation/pdf/oshigoto2018.pdf)

全小中学校と教育委員会等に寄贈されているキャリア教育の教材。証券会社の役割を解説。



## 社会のしくみとお金の役割

野村ホールディングス株式会社



小

暮らしという身近な視点から、お金の役割とお金を通じた社会のしくみについてワークシートに書き込みながら学べる教材。



## 社会のしくみとお金の役割

野村ホールディングス株式会社



教

左記同タイトルのテキストの教師用指導書。金融経済の授業を行う前に、一般的な基礎知識について理解を深めるための冊子。



## けいざい教室

野村ホールディングス株式会社



小

児童用テキストと先生向けの指導書で構成され、生活を通して、値段、会社、地球温暖化など7つのテーマから経済を学べる内容。



## 街のTシャツ屋さん

野村ホールディングス株式会社



中

生徒用のテキストと教師用指導書で構成され、中学生がTシャツ屋さんを「起業する」という話から、企業買収や国際貿易、企業の社会的責任など、経済の仕組み等が自然に理解できる教材。



## 証券会社図鑑

野村ホールディングス株式会社



小～社

証券会社の仕事をイラストと図解でわかりやすく解説。



## ニャン太とお金の大冒険

野村ホールディングス株式会社



小

主人公ニャン太がお金の大切さを学びながら、自分の家を持つストーリー。



## STOCK FANTASY

野村ホールディングス株式会社



中～大

株式や会社の役割、投資についてマンガを交えて解説。

<https://manabow.com/classroom/ebook/stockfantasy/index.html>



# 証券業界は SDGs を推進しています

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## SDGs について

SDGs とは Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称であり、“誰一人取り残さない”世界の実現に向けて、国連が定めた 2030 年を期限とする 17 の目標と 169 のターゲットからなる国際目標です。あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処するために日本を始め先進国を含む全世界が取組みを進めています。

## 証券業界における SDGs の推進

SDGs 達成に向けた大きな課題の一つに、開発途上国の深刻な資金不足があります。民間資金の供給が必要不可欠であり、証券業が本業とする資金過不足の調整機能の発揮が期待されています。



とうしくん

(証券知識普及プロジェクトマスコットキャラクター)

**日本証券業協会**  
Japan Securities Dealers Association